

小・中学校における 租税教育指導事例集

平成 28 年 3 月

登米市租税教育推進協議会

小・中学校における租税教育実践のための参考書として

「平成27年度租税教育指導事例集」の発刊に当たり、一言申し上げます。

租税制度は、国の運営の根幹を支える制度であり、私たちが納めた税金は、「国民の健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となります。

この税金の使い道として、私たちの安全を守る警察・消防や、道路・水道の整備といった公的サービスや、教育・福祉・医療・年金など社会での助け合いのための活動に使われているところです。

このような中で市内小・中学校において、租税教育について学習し、興味をもち、見聞を広め、理解していくことは、誠に有意義であり大事な取組と考えています。

小・中学校の授業の中で、租税教育指導の進め方について、研究及び実践を行い、具体的に様々な取組事例を紹介する本書は、極めて有効な租税教育実践のための参考書であると認識しており、その効果が大いに期待されるものです。

本年度は、小学校6校、中学校2校の実践事例が紹介されています。いずれの学校でも児童生徒を対象に分かりやすく「税」を理解させるため、各種の工夫を凝らして取り組んでおり、今後の租税教育活動に大変参考になる内容となっています。

各小・中学校におかれましては、ここに紹介されています租税教育実践事例を、今後ぜひ参考にさせていただきたいと考えています。

結びに、各小・中学校の授業で、租税教育の推進に御指導いただいた先生方の御努力と御支援、並びに本事例集の取りまとめに当たられました佐沼税務署の皆様の御尽力に心から感謝を申し上げ、発刊に際してのあいさつとさせていただきます。

平成28年3月

登米市租税教育推進協議会会長

登米市教育委員会教育長

佐藤信男

目 次

小学校指導事例

① 第6学年	佐沼小学校 教諭 佐々木 理	1
② 教務主任	錦織小学校 教諭 岩 渕 安 弘	4
③ 第6学年	加賀野小学校 教諭 小 幡 秀 明	9
④ 第6学年	米岡小学校 教諭 佐 藤 智 之	12
⑤ 第6学年	石越小学校 教諭 門 田 洋 之	15
⑥ 第6学年	東郷小学校 教諭 金 野 ゆ かり	19

中学校指導事例

① 社会科	佐沼中学校 教諭 及 川 正 生	23
② 社会科	中田中学校 教諭 白 石 善 郎	26

平成27年度 租税教育推進協力者	29
------------------	----

平成27年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿	30
---------------------------	----

歴代租税教育推進協力者	31
-------------	----

第 6 学年 租税教育実践例

登米市立佐沼小学校
教諭 佐々木 理

- 1 単元名 社会科「私たちの生活と政治」
小単元名 「税金の働き」

2 小単元の目標

- 地方公共団体の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることが分かるとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとする。

3 評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ① 地方公共団体の政治の働きに関心をもち、意欲的に調べようとする。
② 我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとする。

【社会的な思考・判断・表現】

- ① 地方公共団体の政治の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
② 地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。

【資料活用の技能】

- ① 地方公共団体の政治の働きについて、見学や各資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。
② 調べたことをノートや作品にまとめている。

【社会的事象についての知識・理解】

- ① 国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していることを理解している。
② 政治は国民生活の安定と向上を図るために、大切な働きをしていることを理解している。

4 学習計画（7時間扱い 本時6 / 7時間）

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	「みんなの願いと児童センター」 * 子育て支援施設について調べ、分かったことや疑問に思ったことについて話し合う。	・ 市民の役に立つ施設が、なぜ無料で利用できるのかという疑問を学習課題につなげていく。
2	「あすばるの活動」 * 資料を読み取り、子育て支援施設の活動について調べる。	・ 子育て支援施設は、市民の意見を取り入れながら、さまざまな支援活動を行っていることを理解させる。
3	「市役所の働き」 * 資料をもとに、市役所の働きについて調べる。	・ 市役所は、市民の要望などをもとに計画案や予算案の作成し、それらを決定するのが市議会であることを理解させる。
4	「市議会の働き」 * 資料をもとに、市議会の働きについて調べる。	・ 人々の願いに関わる事業は、選挙で選ばれた市議会議員が、市議会で話し合っって決定していることを理解させる。

5	「税金の働き」 *子育て支援のための費用は、どこから出るとかを調べる。	・子育て支援施設の建設費や運営費を提示し、その費用が主に税金でまかなわれていることを理解させる。
6	「税金の役割を知ろう」(本時) *税金の種類や税金の重要性について知る。 *納税は国民の義務であることについて知る。	・ゲストティーチャー(佐沼税務署の方)のお話を聞き、私たちの生活に税金が重要な役割を果たしていることを理解させる。
7	「まとめる」 *地方公共団体の政治について、これまでの学習をもとにまとめる。	・地方公共団体が、市民の願いを取り入れながら国と協力していることや、政治が国民生活にとって重要な働きをしていることについてまとめさせる。



5 本時の学習

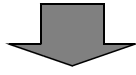
(1) 題材名 税金の役割を知ろう (租税教室：学年での学習)

(2) 本時のねらい

ゲストティーチャー(佐沼税務署職員の方)のお話を聞き、税金が私たちの生活に重要な役割を果たしていることや、納税が国民の大切な義務であることを理解する。

(3) 学習過程

段階	学習活動・学習の様子												
1	本時の活動内容の確認とゲストティーチャーの紹介をする。												
2	我が国の税収額について知り、税金に対する関心をもつ。 ① 100円の商品を買うと、実際には何円払うのでしょうか? → 108円 ② この8円分は何でしょう? → 消費税 ③ 消費税は何%でしょうか? → 8% *消費税の他にも税金の種類があります。それらが集まると税金全体で54兆円になります。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>【税収トップ3】</td> <td>1位</td> <td>消費税</td> <td>15.3兆円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2位</td> <td>所得税</td> <td>14.7兆円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3位</td> <td>法人税</td> <td>10.0兆円</td> </tr> </table> 	【税収トップ3】	1位	消費税	15.3兆円		2位	所得税	14.7兆円		3位	法人税	10.0兆円
【税収トップ3】	1位	消費税	15.3兆円										
	2位	所得税	14.7兆円										
	3位	法人税	10.0兆円										
3	「サザエさん」に出てくるマスオさんの一日から、日常生活と税金の関係について考える。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2">(マスオさんの一日)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>朝、家を出て、会社に行く。</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>今日は給料日</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>仕事の後、喜んだマスオさんは、車に乗って出掛けた。 ・まずガソリンを入れる：300で4,500円</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>お腹がすいたのでハンバーガーを食べた。 ・ハッピー大人セット：432円</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>家に帰り、ビールを飲んで、たばこを吸った。</td> </tr> </table> 	(マスオさんの一日)		①	朝、家を出て、会社に行く。	②	今日は給料日	③	仕事の後、喜んだマスオさんは、車に乗って出掛けた。 ・まずガソリンを入れる：300で4,500円	④	お腹がすいたのでハンバーガーを食べた。 ・ハッピー大人セット：432円	⑤	家に帰り、ビールを飲んで、たばこを吸った。
(マスオさんの一日)													
①	朝、家を出て、会社に行く。												
②	今日は給料日												
③	仕事の後、喜んだマスオさんは、車に乗って出掛けた。 ・まずガソリンを入れる：300で4,500円												
④	お腹がすいたのでハンバーガーを食べた。 ・ハッピー大人セット：432円												
⑤	家に帰り、ビールを飲んで、たばこを吸った。												



*この中に税金に関するものがあります。

①家	→	固定資産税	⑤ガソリン	→	ガソリン税
②会社	→	法人税	⑥ハンバーガー	→	消費税
③給料	→	所得税・住民税	⑦ビール	→	酒税
④車	→	自動車税	⑧たばこ	→	たばこ税

*マスオさんは、全部で5,682円払いました。
この内、税金はどのくらいかかっているでしょう？

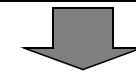
・たばこ1箱	…	120円くらい
・ビール500 mL	…	110円くらい
・ガソリン30 L	…	1,610円くらい
・消費税	…	420円くらい
・合計	…	2,260円くらい

4 税金の種類について知る。

【国税と地方税】	
○国税	→ 国に払う税金
○地方税	→ 県や市に払う税金
【直接税と間接税】	
○直接税	→ 国や県，市に税金を負担する人が直接納める税金
○間接税	→ その商品を買ったお店が国などに税金を納めるが，税金を負担するのは，その商品を買った人。

5 DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」を視聴し、感想を発表する。

*事故や火事が発生	→	・警察や消防署が出動しない
*ゴミ	→	・収集車が来ないので、町が汚くなる
*交番で道を尋ねたら	→	・料金を取られるなど



*税金がないと、なぜ困る？

○警察官・救急隊員・消防隊員	= 公共サービス	→ 国・県・市が支出する
○道路整備・ゴミ処理施設・除雪作業	= 公共のお金	
★これらのサービスや施設が使えなくなるか、あっても有料になる		

6 なぜ国民は税金を納めなければならないのかについて考える。

【国民の三大義務】		
①教育を受けさせる義務	②勤労の義務	③納税の義務

★義務であるからだけでなく、全ての国民が、健康で豊かな生活を送れるようにするために、みんなが出し合う(負担し合う)「会費」である。

6 授業後の感想

- 税金のことが楽しく、分かりやすく勉強することができました。税金が無くなったら大変なことになると思いました。大人になったら、納税の義務をきちんと守っていきたいと思います。
- 幸せな生活のためには、税金が欠かせないことを知りました。大人の人達は、自分のことだけでなく、みんなのことを考えてくれていることに感謝したいと思います。



[一億円の重さを体験]

平成27年度租税教育実践事例（第6学年社会科）

登米市立錦織小学校

教諭 岩渕 安弘

1 小単元名 「震災復興の願いを実現する政治」

2 小単元の目標

- (1) 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとする。
- (2) 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見だし、聞き取り調査をしたり、各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

3 評価の観点と評価規準

- (1) 社会的事象への関心・意欲・態度
 - ① 地震などの災害復旧・復興の取り組みには、地方公共団体や国の政治の働きが反映していることに関心をもち、進んで調べようとしている。
 - ② 我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとしている。
- (2) 社会的な思考・判断・表現
 - ① 地方公共団体や国の政治の働きと国民生活との関連について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
 - ② 災害などの非常時における国民生活を守るために、地方公共団体や国は日ごろから協力して準備していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを適切に考え、表現している。
- (3) 観察・資料活用の技能
 - ① 災害復旧・復興の取り組みについて、関係者への聞き取り調査をしたり、収集した資料を活用したりして、地方公共団体と国の政治の働きについて必要な情報を集め、読み取っている。
 - ② 調べたことを関係図や年表、作品やノートにまとめている。
- (4) 社会的事象についての知識・理解
 - ① 市や県、国による災害復旧・復興の取り組みは、地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解している。
 - ② 政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

4 指導にあたって

(1) 単元について

本小単元は、学習指導要領の内容(2)「我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。」ア「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けて設定した。

本小単元は、東日本大震災という児童が実際に体験した災害をもとに地方公共団体や国の取り組みについて調べまとめることで、政治を身近に感じながらねらいに迫っていける単元である。また、震災復興の取り組みの中で必要な税金の役割についても学習し、次小単元の日本国憲法の国民の義務の学習に発展していく内容となっている。

(2) 児童の実態 (男5名, 女6名, 計11名)

「税金にはどんな税金があるか」というアンケートでは、分からないが4名, 消費税5名, 所得税2名, たばこ税1名, 関税1名, 印税1名であった。

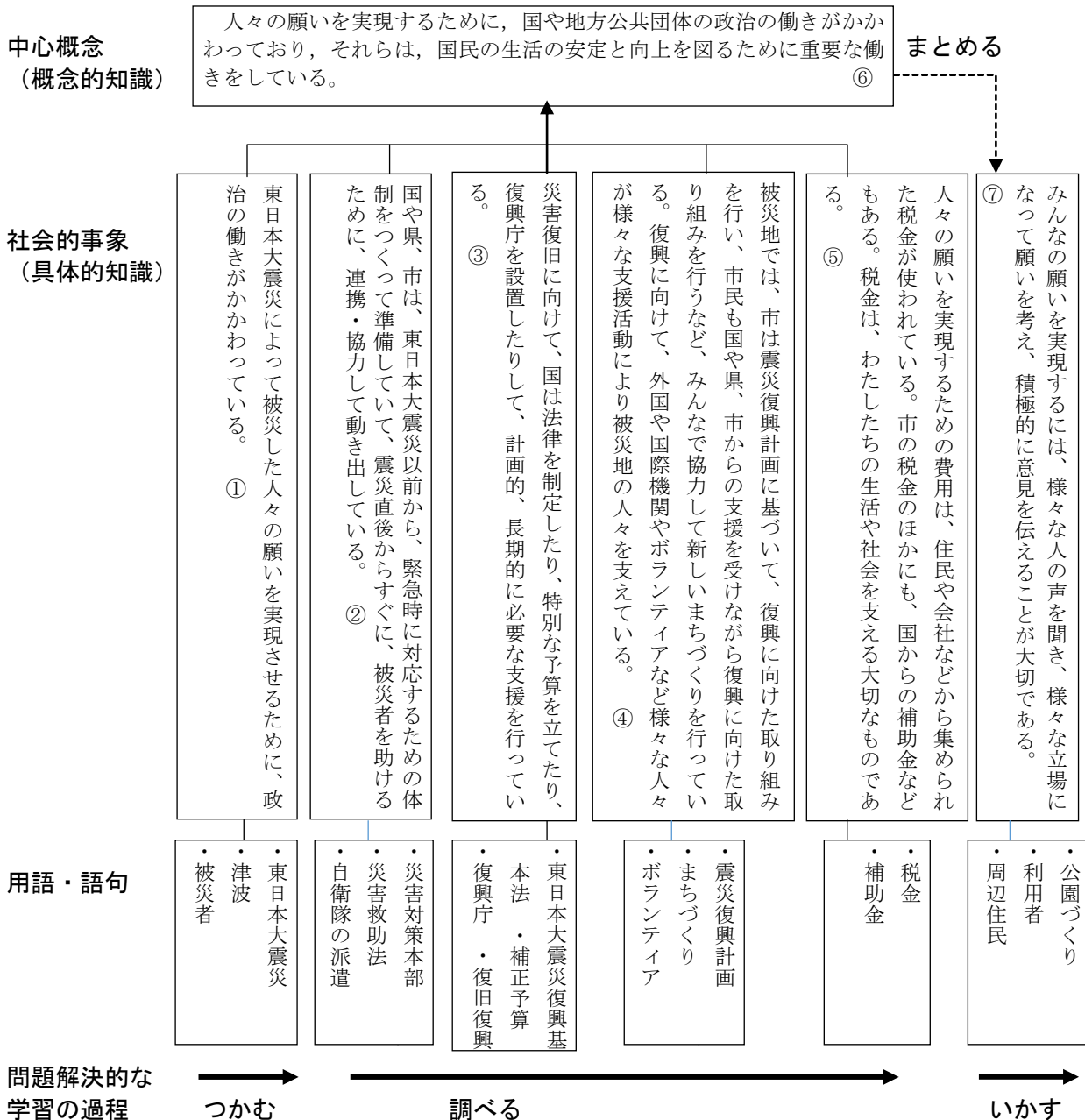
「税金はどんなことに使われているか」というアンケートでは、教科書7名, 学校建設1名, 学校・図書館などの公共施設1名, 道路の修理1名, 救急車1名, 病院1名, 選挙費用1名, 老人ホーム1名, 復興1名, 刑務所1名であった。

児童は、身近な税金以外の税金はあまり知らず, 税金が教科書等, みんなが使うところに使われていることはだいたい知っているようである。

(3) 指導の着眼

- ① 既習事項の「租・庸・調」や年貢, 地租改正などの内容を想起させ, 税が昔から存在したことや政治に必要なことを理解させる。
- ② 震災の復興の予算はどこから出るか考えさせ, 税金の働きを理解する手掛かりとする。
- ③ ゲストティーチャーを招き, 税の必要性について具体的に理解できるようにする。

(4) 知識の構造図



5 学習計画（ 7時間扱い 本時5/7 ）

時間	ねらい	学習活動	評価規準【B】(評価方法)
1	○震災直後と1年後の写真などをもとに、願いを実現する政治の働きに関心をもつ。	① 震災直後としばらく後のまちや漁港の様子を比べて、気づいたことを話し合う。 ② 被災した人々の願いを実現するためにはどうしたらいいのか話し合い、学習問題をつくる。	【関】被害の大きさやまちの人々の願いについて関心を持ち、願いを実現する政治の働きを意欲的に調べようとしている。
震災後、だれがどのように活動し、復興させてきているのだろうか。			
1	○震災が発生したとき、市や県、国は、どのような取り組みをしたのかを読み取る。	① 地震直後の市の取り組みについて調べる。 ② 地震直後の県の取り組みについて調べる。 ③ 地震直後の国の取り組みについて調べる。	【技】市や県、国の災害対応の取り組みについて必要な情報を集め、読み取っている。
1	○災害復旧に向けて、国は、どのような取り組みを行ったのかを調べて理解する。	① 災害復旧に向けた国の取り組みを調べる。 ② 災害からの復興に向けた国の取り組みを調べる。	【知】災害復旧の取り組みは、国の政治の働きによるものであることを理解している。
1	○災害復興に向けて、地方公共団体や国、外国や国際機関やボランティアなど様々な人々の働きを調べ、理解する。	① 災害復興に向けた市や市民の取り組みについて調べる。 ② 復興に向けたさまざまな取り組みについて調べる。	【知】災害復興への取り組みは、地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解している。 【技】災害復興に向けたさまざまな支援について、必要な情報を集めて読み取っている。
1 (本時)	○人々の願いを実現するための費用は税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。	① ゲストティーチャーの話から税金の必要性について考える。 ② DVDを見て、税金の必要性について知り、自分の考えを明確にもつ。	【知】人々の願いを実現するための費用は、住民や会社などから集められた税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。
1	○調べてきたことを項目ごとに整理し、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを表現する。	① 調べてきたことを項目ごとに整理して、新聞記事を書く。 ② 学習を通して考えたことを「ことば」を活用しながら社説にまとめる。	【思】これまで調べたことを関連づけたり、総合したりして、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、表現している。
1	○みんなの願いを実現するには、様々な人の声を聞き、様々な立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切であることを理解する。	① どのような公園がよいのか、自分の願いを出し合う。 ② いろいろな人の話を聞いて、ほかにどのような立場があるか、考える。 ③ 多様な意見をまとめていく方法について話し合う。	【知】みんなの願いを実現するには、様々な人の声を聞き、様々な立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切であることを理解している。

6 本時の学習

(1) 小単元名 「震災復興の願いを実現する政治」～税金の働き～

(2) ねらい

人々の願いを実現するための費用は税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。

(3) 学習過程と学習の様子

段階	学習活動	学習の様子
つかむ	<p>1 既習事項を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <p>(1) 震災復興の予算は、どこから出るか予想し、税金の働きを理解する手がかりとする。</p> <p>(2) 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">税金の使い道を知り、必要性を考えよう。</div>	 <p>【ゲストティーチャーの話を聞く】</p>
調べる	<p>2 ゲストティーチャーの話から税金の必要性について考える。</p> <p>(1) 知っている税金の名前を発表する。</p> <p>(2) 税金の合計金額を知る。</p> <p>(3) 税金の使い道を知る。</p> <p>税金が使われているものとそれ以外のものを、カードを使って分ける。</p> <p>(4) 学校と税金の関係を知る。</p> <p>(5) 自分だったら税金を支払いたいか考える。</p> <p>3 DVDを視聴し、税金の必要性について考える。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する】</p>	 <p>【税金が使われているものとそれ以外のものを、カードを使って張り分ける】</p>  <p>【教科書裏表紙を見て、税金が使われていることを知る】</p>
まとめる	<p>4 税金の必要性について考える。</p> <p>(1) 税金を支払いたいか自分の考えをもつ。</p> <p>(2) 国民の三大義務を知る。</p> <p>(3) 1億円の重さを知る。</p> <p>5 感想を発表し合う。</p> <p>(1) 感想を書く。</p> <p>(2) 感想を発表し合う。</p> <p>6 本時のまとめと次時の確認をする。</p>	 <p>【1億円のレプリカで、1億円の重さを知る】</p>

(4) 評価の観点と方法

【知】人々の願いを実現するための費用は、住民や会社などから集められた税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。(カード・発言)

7 児童の感想

税金がなくなると、火事の時や救急車を呼ぶときにすごくお金がかかることが分かりました。そのほかにも公園などがつぶされてごみもいっぱい落ちてくるきたない国になってしまうことが分かりました。
今日話を聞いて、学校で使っているもの、税金で作っているものを、これからも大切にしていきたいと思いました。

ビデオを見て、税金は病院などにしか使われていないと思っていたけれど、公園や橋などたくさん場所で使われていることが分かりました。
だから、これからは税金をやがらずしっかりはらいたいです。

税金がなくなると、消防や道路にお金がかかるのを知ってびっくりしました。だから、消費税などは大切なんだなと思いました。
また、1億円は意外に重くてびっくりしました。

税金は、お金がほしいからあると思っていましたが、みんなが困っているときに使うものということが分かりました。
1億円は重いけど、20kgよりは軽かったです。

ビデオを見る前は、税金はそんなに必要ないと思ったけど、ビデオの税金のない世界になったらという話を見て大変だなと思ったので、税金は必要だということが分かりました。

今まで、税金にはあまり興味がなかったけど、今日の授業で自分が使っている教科書などは税金があるから使えると知ったので、大切に使う必要があると思いました。
そして、自分も税をしっかり払わなければみんな困ってしまうので、税金はとても大事だと感じました。

8 税に関する「絵はがきコンクール」への応募作品



9 まとめ

- (1) 震災の復興の予算はどこから出るか考えさせ、税金が使われているという予想をもたせたことは、既習事項を本時のねらいにつなげる上で有効であった。
- (2) 税金が使われているものとそれ以外のものを、カードを使って分けたことは、税金の使い道を明確にする上で有効であった。
- (3) 税金の必要性を考えさせる DVD (税金がなくなった世界を映像化したアニメ) の視聴は、税金の必要性を考えさせる上でとても効果的だった。
- (4) ゲストティーチャーの登米法人会の方のお話や DVD, 具体物 (1億円のレプリカ) を活用した学習は分かりやすく、子どもたちは関心もちながら税金の必要性を理解することができた。
- (5) 税金の必要性を理解させた上での「大人になったら税金を支払いたいか」の発問は、社会参画意識を育てる上で有効であった。

平成27年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立加賀野小学校
教諭 小幡 秀明

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治
- 2 小単元名 「子育て支援の願いを実現する政治－税金の働き－」
- 3 本時のねらい
 - ・市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用したり、ゲストティーチャー（税務署の方）を招いたりして必要な情報を集め、税金の重要性を理解する。
- 4 本時の評価規準
 - ・どのような施設や物に税金が使われているか関心をもち、進んで調べようとしている。【関心・意欲・態度】
 - ・国民生活の安定を図るために、税金が果たしている役割について考えている。【思考・判断・表現】
 - ・税金に関する資料を活用して、必要な情報を集めて変化や数値を読み取っている。【技能】
 - ・税金は様々な方法で集められ、公共的な事業に使われていることを理解している。【知識・理解】
- 5 指導の着眼
 - ・本時はゲストティーチャーとして佐沼税務署から阿部さんをお招きして授業を展開する。事前調査の結果（税金は、必要11名、必要ない21名、どちらともいえない7名）をもとに、自由に子どもたちの意見や考えを發表させながら授業を進めていく。税金の種類や集め方、どんなことに税金が使われているか、税金がなかったらどうなってしまうかなどを考えさせながら、税金の重要性を理解させたい。
- 6 学習の流れ

学 習 内 容 ○主な発問 ・予想される児童の反応	●指導上の留意点
1 税金はどんなお金のことか話し合う。 ○税金ってどんなお金のことかな。 ・みんなで使うお金 ・消費税は知っている ・学校などを建てるお金	●税金について知っていることや関係のあることを自由に發表させ、関心をもたせる。
2 税金は必要かどうか意見を交流する。 ○税金にもいろいろな税があるけどどんな税を知っていますか。 ・消費税 ・あまり分らない ○みんなも買い物をしたときに消費税を払っていますが必要だと思いますか。 ・100円の物が、100円で買えないから必要ないと思う ・値段が分かりにくいから嫌だ ・消費税などの税金は、国のために必要だと思う	●ここでは、消費税以外の税（住民税、所得税など）は、紹介程度にとどめ、多くの児童が知っている消費税を中心に扱う。 ●事前調査をもとに理由や根拠をはっきりさせながら發表させる。

3 本時の課題を知る。

税金は、どのような施設やお店に使われているのか考えよう。

○この写真は、登米市にある施設やお店ですが、税金で建てられたものとそうでないもの分けしてみましょう。



○どうしてそのように考えたか発表してもらいます。



○佐沼税務署の阿部さんから正解を教えてください。



・○○○は、税金で建てられたんじゃないんだ。

●税務署の阿部さんに詳しいお話をしてください。

●友達と相談しながら、自分たちの身近な施設やお店が税金で建てられたかどうかを考えさせるようにする。



●理由や根拠を明確にしながら発表させる。

●発表に対して付け足しや質問をすることで考え方に深まりをもたせるようにする。

●正解に対して分からないことに関しては、積極的に質問するように声掛けをする。

4 DVD (鑑賞教材)「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を鑑賞する。

○これから見る DVD をもとに税金は必要かどうかみんなで考えましょう。



- ・火事になっても火を消してもらえないんだ
- ・警察もお金がかかるなんて・・・

5 DVD 鑑賞後の税に対する感想を話し合う。

○今日は、佐沼税務署の阿部さんにお出でいただき税金について詳しく勉強しましたがどうでしたか。

- ・税金の大切さが分かった
- ・いろいろな税金について調べたいと思った



6 学習のまとめをする。

○佐沼税務署の阿部さんと学習をしての感想を発表してもらいたと思います。

- ・道路が自由に通れないなんて困ると思った
- ・ごみを集めてもらえなかったら町が汚くなると思った

●自分の事前調査の税金に対する考え方を想起させながら視聴させるようにする。

●1年間の税収入を理解させるために、税務署に協力をお願いし、1億円のレプリカのお札の量や重さを体感できるようにする。



●最後に税金の種類や集め方に触れ次時の調べ学習に繋げるようにする。

7 児童の感想 (学習の流れ6以外)

- ・始めは、税 (消費税) は、なんであるんだろうと思っていたけど、すごく大切なお金だということが分かった。
- ・自分たちが今使っている教科書も、税金から無料で配付されているということを知り、大切にしようと思った。
- ・もしも、税金がなかったら大変な世の中で、こわいなと思った。
- ・税が大切なことは分かったけど、これ以上税金が上がるのは、困るし大変になるように感じた。

平成27年度 租税教育実践事例（第6学年）

登米市立米岡小学校
教諭 佐藤 智之

1 小単元名「税金の働き」

2 本時の目標

- ・わたしたちの願いを実現し、豊かな社会を形成するために税金が使われていることを知り、わたしたちの暮らしと政治のつながりについて考える素地を養う。

3 本時の評価規準

- ・税金にはどんな種類があり、どのように使われているかについて進んで調べようとしている。

【関心・意欲・態度】

- ・税金は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

【知識・理解】

4 指導にあたって

児童に税金について知っていることを発表させたところ、消費税、たばこ税、酒税など身近で聞いたことがあるものを連想することが分かった。次に、その税金が何に使われているのかを考えさせたところ、学校を作ったり、消防車を買ったりする、建物を作ったりするなどの考えが発表された。そうした税金を払うことについて聞いたところ、できれば払いたくないという意見が多数であった。大切なことは分かっているが、税金の必要性については、まだ十分には理解できていないことが分かった。そこで本時では、佐沼税務署職員の方をゲストティーチャーとしてお招きすることで、税金の実際について具体的に児童が学ぶことができるようにしていきたい。登米市の施設で、税金が使われているものがどれかを考えたり、1億円のレプリカを見たり持ったりすることを通して、お金のイメージをもてるようにさせていきたい。また、税金は取られるものというイメージが強いが、税金によって暮らしの安全や、豊かな生活が守られていることについて考えさせ、今後の生活について自己の考えをもつことができるようにしていきたい。






5 準備物

- ・写真カード（登米市の公共施設と民間施設の写真を準備する）、ノート、PC、DVDプレーヤー、大型テレビ、1億円のレプリカ

6 指導の流れ

1	税金にはどんな種類があるかを調べる。(家庭学習)
2	本時 わたしたちに暮らしと税金について考える。(社会)
3	納税の意義について自己の考えをもち発表する。(家庭学習・社会)

7 学習の流れ

段階	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 【評価】
導入	<p>○1億円のレプリカを見たり、持ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物？ ・1億円は重い。 ・こんなにあるんだ！ <p>○本時の学習課題を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">税金の働きについて考えよう。</div>	<p>□1億円のレプリカを見ることで、児童の意欲を高めることができるようにする。</p> 
展開	<p>○税金が使われている施設とそうでない施設について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所は税金が使われていると思う。 ・ショッピングセンターは、どちらかな？  <p>○税金がなかったら、どんな町になるかを考えるDVDを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋が壊れても直してくれないなんて大変だ。 ・税金がないから最初はよいと思ったけど、かえって、いろんなものにお金がかかるなんて大変だと思った。 ・税金がないと、町が大変なことになると思いました。 	<p>□税金が使われている施設を、児童に実際に分けさせていくことを通して、主体的に考えることができるようにする。</p>   <p>□税金の意義を紹介するDVDの映像を見ることで、児童が税金の意義を理解することができるようにする。</p> 
終末	<p>○本時の感想をまとめ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はないほうがよいと思っていたけど、ないととても困ることが分かりました。 ・払いたくない気持ちもあるけど、やっぱりはらわなくちゃと思いました。 	<p>【評価】 税金は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。【知識・理解】</p>

8 児童の感想

- ・税金がないと困ることがいっぱいあると感じた。
- ・税金がないと、教科書にお金がかかったり、橋も壊れたままだったりするから、大変だと思った。
- ・税金が使われている病院や、学校に税金が使われないとしたら、高額のお金を払わなければならないで、払うのはいやな気持ちもあるけど、払わなければならないと考えました。
- ・私は、今日、税金のビデオを見て、税金がなくなると町が大変なことになるのが分かりました。だから税金は大切なんだと思いました。



9 成果と課題 ○成果 ●課題

○本時では、1億円のレプリカを見たり持ったりすることを通して、児童はお金について興味をもちながら学習することができた。また、後半のDVD視聴では、税金がないと町がどうなるかについて、分かりやすく理解することができた。こうした教具や資料を活用できたことにより、効果的な学びへと展開させることができた。

○言葉で税金の大切さを話しても、児童にとっては実感のないものになったかもしれない。しかし、本時のように、税金に携わっている方のお話を直接聞くことで、税金を納めることの大切さについて考えさせることができた。

●本時は、年間計画では3学期の予定であるが、租税教室の時期を調整したところ、11月に実施することになった。そのため、学習の前後のつながりが分かりにくくなってしまった面もあった。今後はさらに連携を図り、年間計画での位置付けを工夫しながら進めていけるようにしていきたい。



平成27年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立石越小学校
教諭 門田 洋之

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治
小単元名 子育て支援の願いを実現する政治

2 単元について

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（2）を受けて設定したものである。学習内容は、3つの小単元で構成されており、具体的な事例に即して学習を進めるようになっている。地方公共団体の政治の働きを考えさせるための教材は2つあり、埼玉県川口市の社会保障を中心とした教材と宮城県気仙沼市の被災地の復旧・復興を取り上げている教材である。「国の政治の仕組み」については、国会、内閣、裁判所のそれぞれが大切な働きをしていることや、三権が相互に関連し合っていることが学習を通して理解できるようになっている。また、憲法の基本的な考え方は、基本的人権や国民主権、平和主義について調べていく構成になっている。さらに、それらをふまえた上で税金の果たす役割や意味の大きさにも気付くことができる単元である。

(2) 児童の実態（男21名 女19名 計40名）

社会科の事前調査（聞き取り）では、新聞（社会面等）を読んでいる児童は、「たまに見ている」も含め2名しかおらず、新聞自体を読まない児童がほとんどであった。また、テレビなどで情報番組は見るもののニュース系の番組はほとんど見ないようである。政治について興味・関心がある児童は4、5名と少なく、他の児童からは、「難しい」、「言葉の意味がよく分からない」という声が多かった。

「税金」についての質問も行った。「税金」という言葉は全員が知っていた。また、知っている税金の種類は、「消費税」が圧倒的に多く、「自動車税」、「住民税」なども一部の児童から出された。「税金という言葉から思い浮かぶこと」では「何に使うのか分からない」、「高い」、「無いといい」などの反応が多かった。

正しい知識や理解はほとんどなく、保護者やテレビなどからの情報を耳にしたことからくる反応と考えられる。また、税金の使われ方にも多様な意見が出され、正しいものもあれば、「よく分からない」、「建物」、「みんなが使うもの」など、曖昧な意見も多かった。税金の使われ方がよく分かっていないため、「税金は必要か」という質問には、「必要ない」、「微妙」の回答が多く、「必要」と答えた児童は数名にとどまった。

(3) 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、以下のような点に留意して指導にあたりたいと考える。

- ① 社会科では、これまで日本の歴史の学習の中で、年貢などの「税」に関する学習も行ってきている。古くから「税収制度」があったことを想起させ、現代との相違点なども考えて税についての理解を深めさせたい。
- ② 「税金」と一言でいっても、種類や納め方、使われ方等々理解しなければならないことは多い。本単元では、納められた税金はどんなことに、そしてだれのために使われるものなのかにポイントをしばって指導する。
- ③ 佐沼税務署（登米法人会）から講師を招いて、専門的な立場から税金について話をしてもらい、より理解を深めるようにする。
- ④ 税金についての調べ学習を行い、疑問や分からないことを課題に設定させ、進んで学ぼうとする意欲を高める。

3 小単元の目標

- ・ 地方公共団体や国の政治の働きを理解し、国民生活とのかかわりを考えようとする。
- ・ 調べたことをまとめ、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

4 指導と評価の計画（本時：6／8）

時	○主な学習活動	・指導上の留意点	*評価の規準
1	○児童センターの見学 ・子どもをもつ親の願いについて考え、話合う。	・地域にある支援施設について調べさせ、興味・関心を高めさせる。 ・わたしたちの石越町を活用する。	【関】【技】*利用者の願いや活動の様子に関心をもち調べようとしている。
2	○みんなの願いと児童センター ・子ども支援施設について学習問題をつくる。	・住民の役に立つ施設が、なぜ無料で利用できるのかという疑問から学習問題につなげていくようにする。	【思判表】*地方公共団体の政治の働きについて学習問題を考え、表現している。
3	○あすばるの活動 ・どんな目的で、どんな活動が行われているのか調べる	・支援施設を利用した経験がある児童には、体験や活動を想起させる。	【思判表】*支援施設は、市民の願いを取り入れて活動していることについて考え、ノートに表現している。
4	○市役所の働き ・市役所の働きについて調べる。	・取材の仕方を学ばせる。 ・計画・予算案は市役所の仕事で決定は市議会の仕事であることを理解させ、次時につなげる。	【技】*各種資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。
5	○市議会の働き ・市議会の仕事について調べる。	・資料を読み取り、市民、市役所、市議会、国会や関係省庁の関係をとらえさせる。	【知理】*国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していることを理解している。
6 7 本時	○税金の働き ・公共施設の建設や運営するための費用はどこから出ているのか調べる。 ◎登米法人会の方をゲストティーチャーとして招き、専門的な立場から話をしていただく。	・公共施設の建設や運営するための費用を調べることによって、税金が重要な役割を果たしていることに気付かせる。 ・教科書と関連させながら話を聞かせ、身近なところで税金が使われていることに気付かせる。	【知理】*市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、理解している。
8	○まとめ ・学習問題を解決する。	・「ことば」を利用し、自分の言葉で分かったことや考えたことを表現させる。	【技】*自分の考えを整理しながらまとめている。 【思判表】*政治は国民生活の安定と向上を図るために重要な働きをしていることについて表現している。

5 本時の学習 —「税金の働き」について考えよう—

(1) 本時のねらい

- ・ 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して、必要な情報を集めて読み取ることができる。
- ・ 税務署（法人会）の出前授業を活用して、理解を深めるようにする。

(2) 指導にあたって

- ・ 本時は2時間扱いとし、後半は登米法人会から講師を招いて、専門的な立場から税金について話をしてもらい、より理解を深めるようにする。

(3) 学習過程 (6 / 8)

段階	主な学習活動	教師の支援 (○) と評価 (◆)
導入	<p>1 支援施設の建設費や運営費の具体的な金額を予想する。</p> <p>(1) おおよその金額を話合う。</p> <p>(2) その金額はどこから出ているのかを予想する。</p> <p>・ 国や県, 市 ・ 自分たち ・ 税金</p>	<p>○ 漠然とした予想ではなく、資料2のデータをもとに考えさせる。</p> <p>○ どこからそのお金が出ているのか予想させるとともに、本時の課題へとつなげていくようにする。</p>
展開	<p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>公共の施設の費用は、どこから出るのでしょうか。</p> </div> <p>3 費用がどれくらいかかるか、実際にどこから出るのか調べる。</p> <p>(1) 資料1の図：市役所の収入を読み取る。</p> <p>・ 税金・国や県からの補助金・借入金</p> <p>(2) 資料1からあすばるの建設や運営における税金の使われ方を確認する。</p> <p>・ 建物を建設する費用</p> <p>・ 働く人の給料</p> <p>・ 設備を修理する費用 など</p> <p>(3) 税金がどのように集められ、どんなことに使われているのかを調べる。</p> <p>① 資料3：さまざまな税金</p> <p>・ 消費税 ・ 住民税 ・ 所得税 など</p> <p>② 資料3：さまざまな税金の使われ方</p> <p>・ 警察や消防 ・ 道路建設 ・ 学校</p> <p>・ ごみ収集 ・ 健康診断 など</p> <p>③ 「社会を支える税金」を読み、税金の大切さを考える。</p>	<p>○ 資料1の「あすばるに必要なお金」から、自分たちの市にも収入があることを捉えさせる。</p> <p>○ 登米市でも集められたお金が身近な公共施設に使われていることを知らせる。</p> <p>○ 子どもの自分たちでも、買い物や食事など、普段から納税を体験していることを改めて実感させ、より身近なものとして税金を捉えさせる。</p> <p>○ 消防や警察、ごみ処理の仕事など、3・4年生の学習と関連づけて、税金の使われ方を具体的に考えさせるようにする。</p> <p>○ 「社会を支える税金」のコラムを読み、より具体的な税金の使われ方について読み取らせたい。</p>
終末	<p>4 税金の集められ方や、使われ方についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>人々の願いを実現するための費用には、住民や会社などから集められた税金が使われている。市の税金のほかにも、国からの補助金などもある。税金は、私たちの生活や社会を支える大切なものである。</p> </div> <p>5 振り返りと次時の学習内容を知る。</p>	<p>○ 税金について調べたことをまとめさせる</p> <p>○ 登米法人会から講師の先生をお呼びして授業することを知らせ、次時への期待感をもたせる。</p>

(3) 評価

- ・ 税金の必要性や納税の義務などについて理解することができたか。

6 登米法人会からゲストティーチャーを迎えて（7／8）



◇2／4 登米法人会のみなさんが来校



◇話の中に出てくる金額が大きすぎて、ピンとこない児童のために「1億円が目の前に！」



◇真剣に話を聞いています



◇税金の正しい使われ方をカードを使って学習しました。



◇説明もとても分かりやすい内容でした。



◇最後にまとめのお話と質問等を受け付けてもらって終わりました。

7 児童の感想から（一部抜粋）

- ・ 税金の働きの学習を通して、ぼくたちが生活する中で税金はかせないものだということがわかりました。公園や信号、公共施設などもすべて税金でまかなわれているということを実感しました。父さんや母さんは、税金がまた上がると言っていたけれど、ぼくはもっと上がってもいいと思いました。
- ・ 私は、税金なんてなくてもいいのにと感じていました。しかし、今回の授業で税金がないと、私たちの暮らしが成り立たないことや、税金が使われているところと使われていないところがよくわかりました。
- ・ 私は、税金のことをあまり生活の中で考えることがなかったので、とてもよい機会になりました。

平成27年度 租税教育実践例 (第6学年社会科)

登米市立東郷小学校
教諭 金野 ゆかり

1 小单元名 税金の働き

2 小单元の目標

人々の願いを実現するための費用には、住民や会社などから集められた税金が使われていることを知り、税金は、わたしたちの生活や社会を支える大切なものであることを理解する。

3 児童の実態 (23名)

本单元を学習するにあたり、事前調査を実施したところ、以下のような結果となった。

質問事項	回答	人数
どんな税金を知っていますか。	・消費税 ・自動車税 ・たばこ税	23名 2名 1名
税金はどんなことに使われているのでしょうか。	・市で使われる。 ・困っている人、体の不自由な人のために使われる。 ・道路工事 ・市や国の建物を建てる。 ・教科書 ・給食 ・募金のように困っている国に送る。	
税金は誰が決めますか。	・総理大臣 ・知事、市長 ・国会議員	2名 5名 16名



以上のことから、消費税は自分たちの経験を通して知っているものの、それ以外の税金については知らない児童が多い。また、用途についても、募金などと混同しており、税金についての知識は乏しいと思われる。



4 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・税金は、わたしたちの生活や社会を支える大切なものであることを理解する。

(2) 学習過程

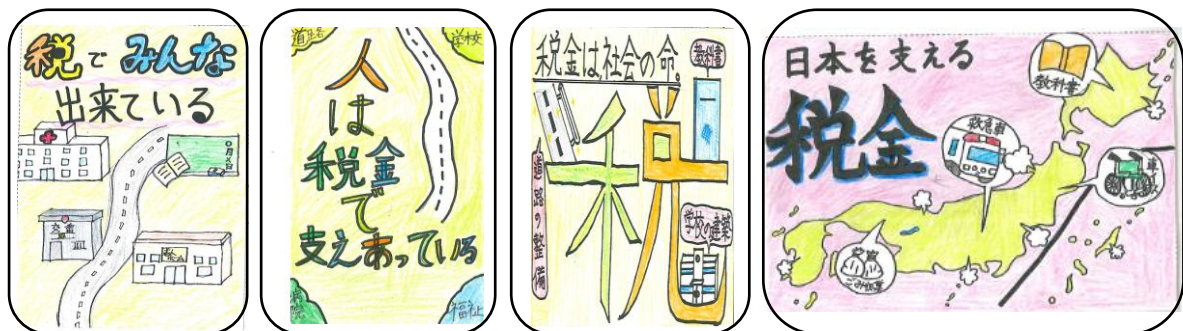
過程	学 習 活 動	学習の様子や児童の反応	準備物
つ か む	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 私たちの生活と税金のかかわりについて考えよう </div> <p>2 ゲストティーチャーを迎える。 ・ゲストティーチャーとして、登米法人会の高田さんから「税金」について話を聞く。</p>	<p>・登米法人会について知る。 ・税金は自分たちの生活とどのように関係しているのだろう。</p>	
考 え る	<p>3 税金にはどんなものがあるか考える。 (1) 知っている税金の名前を挙げる。 (2) 1億円のレプリカを実際に持ってみて実質的な1億円の重さを体感する。</p> <p>4 税金は何に使われているか、考える。 (1) 使われているもの ・公園 ・学校 ・市役所 ・橋 ・祝祭劇場・市民プール ・市民病院 ・信号機 (2) 使われていないもの ・工場 ・スポーツクラブ ・ショッピングセンター ・電器店 ・ビデオレンタル ・ファミレス ・ホームセンター ・ファストフード</p>	<p>・消費税 ・自動車税 ・たばこ税 ※消費税率8%で、54兆円にも上ると説明されるが実感できない様子だった。</p>  <p>※グループで話し合い、税金が使われているものと使われていないものにとカードを分ける。 ※工場は税金が使われているのではないかと迷ったグループがあった。</p> 	<p>1億円のレプリカ</p> <p>カード</p>

<p>考 え る</p>	<p>5 学校に税金が使われていないとしたら、どうなるかを考える。</p> <p>(1) 塾やスポーツをしている人の月謝はいくらだろうか。</p> <p>(2) 学校に税金が使われていなかったら、月謝は7万円と知る。</p> <p>(3) 税金がないと困るから、税金は必要だろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を買わなければならない。 ・3千円 ・7千5百円 ・高い! ・兄弟が多いと大変だ。 ・税金がないと困る。 <p>※3万円, 5万円, 7万円の三択形式のクイズにほとんどの児童は5万円に挙手をし, 7万円と知り驚く。</p> <p>※全員が必要であると挙手する。</p>	
<p>広 げ る</p>	<p>6 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する。</p> <p>(1) 税金がなくなったら、どうなるのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車・・・3万円/回 ・信号機設置・・・百万円～5百万円/機 ・消防車・・・2千5百万円/台 ・はしご車・・・1億5千万円/台 <p>7 税金の使いみちについて考える</p> <p>○税金は豊かな生活をおくるためのものであるから、使いみちを考えなければならない。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・火事になったら、消防車を呼ぶのも有料になって大変。 ・救急車も有料。 ・信号機が動かず、交通渋滞になる。 ・ごみ収集もされなくなって町中がゴミだらけになる。 ・公園の整備がされなくなる。 ・老人でも働かなければならなくなる。 ・道路も通行料を取られる。 	<p>DVD</p>

	<p>(1) 税金の使いみちは誰が決めるのだろうか。</p> <p>(2) 国民の三大義務は何か。 ◎税金はすべての国民が健康で豊かな生活がおくれるように国民みんなが出し合うもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国会議員 ※国と同じように県民や市民の代表者が議会で予算を決めることを知る。 ・教育を受けさせる義務 ・勤労の義務 ・納税の義務 	
まとめる	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想と税の絵ハガキを描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金は絶対必要なものである。 	絵ハガキ

5 児童の感想・税の絵ハガキより

- ・税金がないと大変なことになることが分かりました。DVD で見たように、学校や病院などにも税が使われていて、税がなければ全部自分たちでお金を払わなければいけないので、やっぱり税があった方がいいと、誰もが思うと思いました。
- ・税金がもしなかったら、みんなが困るし、みんなが不安になってしまうかもしれないので、税金は何があってもないといけなかったと思います。
- ・税金がなかったら、世の中がめちゃくちゃになると思いました。来年から10%になるけど仕方ないと思いました。
- ・今日の授業で、やっぱり税金は必要だと改めて実感しました。税金のことを知るまでは本体価格に税込みになるなんて計算とかめんどくさいなと思っていましたが、それがみんなのためになるなら払えると、これからは思えます。



6 成果と課題

- 今回の租税教室は、児童の税に対する興味・関心を高める上で効果的だった。
- 税についての知識が乏しい児童たちにとって、「マリンとヤマトの不思議な日曜日」のDVDは、税の内容や使い途を知らせる上で、非常に効果的であった。
- 学習後に、税の絵ハガキを描く活動には、どの児童も楽しく、かつ意欲的に取り組むことができた。どの作品も、「税は大切なもの」「自分たちの生活になくてはならないもの」というとらえをしており、本時のねらいが達成できたと思われる。

第3学年社会科学学習指導案

指導者 登米市立佐沼中学校 教諭 及川正生

1 単元名 「地方の政治と自治」

2 単元の目標

地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。

3 指導目標

- ・自分たちが住む地域社会への関心を高め、住民の一人として、地方自治の発展に寄与しようとする自治意識の基礎を育てる。
- ・地方自治が直接請求という直接民主制の方法を導入している理由について、具体的な事例に基づいて、多面的・多角的に考察させるとともに、主権者としての政治参加のあり方について考えさせる。
- ・調査や見学活動などを通して、地方の政治について具体的に理解させるとともに、発表や討論などを通して考えを深める。
- ・住民自治を基本とする地方自治の考え方や、地方公共団体の政治の仕組み、地方財政の仕組みなどについて理解させる。

4 指導計画（本時3／5）

時 間	題 材 名	主 な 学 習 内 容
第1時	わたしたちと地方自治	住民自治，地方公共団体，地方分権等
第2時	地方自治の制度	地方議会，首長，直接請求権等
第3時	地方財政	地方財政の制度，地方公共団体の財政健全化，市町村合併等
第4時	住民参加の拡大	住民の声を生かす，住民運動の広がり，私たちにできること等
第5時	わたしたちの政治参加	地域の新しい試み等

5 本時の学習について

(1) 題材名 「地方財政」

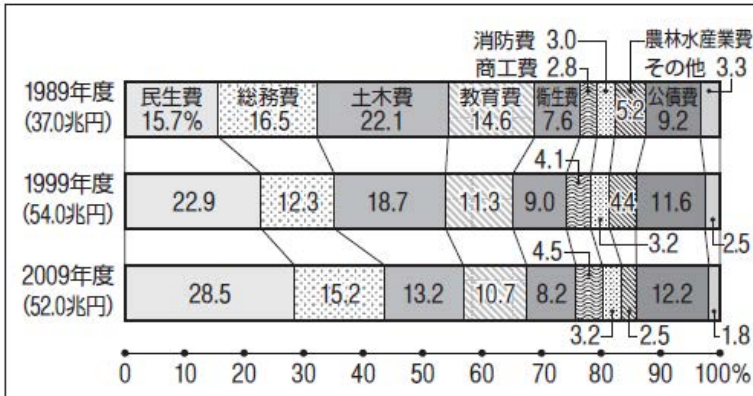
(2) 学習の目標

- 地方公共団体のお金がどのように使われ，財源がどのようになっているかについて理解する。
- 地方公共団体が抱える財政上の課題とその解決方法について考え，話し合ったことを発表する。

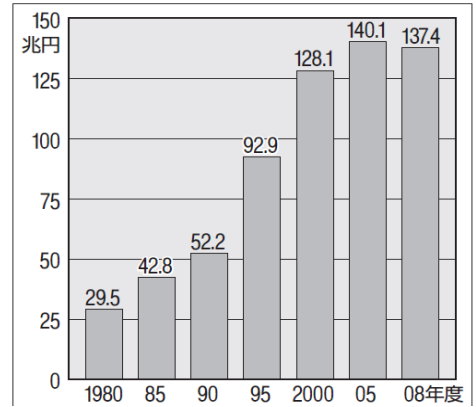
(3) 指導過程

段階	学習活動と予想される反応	指導上の留意点
導入	<p>1 地方財政の制度</p> <p>① 地方公共団体のお金はどのように使われているかを発表させる。その後、グラフ 4 をもとに地方財政の歳出の全体像をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防, 上下水道, ゴミの処理, 戸籍の管理等 ・ 「民生費」「土木費」「公債費」等 <p>② 地方財政の財源について、グラフ 1 をもとに説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主財源である地方税が約 40%, 国から補助が 37%である。 ・ 地方債が 15%程である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 P92 の写真 1 を振り返り, ヒントなど与えて多くの答えを引き出すようにする。 ・ 国税が地方に配分される仕組みについておさえる。 (国庫支出金, 地方交付税交付金)
展開	<p>2 地方公共団体の財政健全化</p> <p>③ 財政を立て直すための取り組みについて「事業仕分け」を参考にして理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方債の発行残高の推移について年々増加している。 ・ 無駄に支出しているものが無いか, 見直す必要がある。 <p>④ グラフ 4 をもとに, 市区町村の歳出が変化した理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化により, 「民生費」の増加が目立っている。 <p>⑤ グラフ 7 の登米市の歳出について, どのような課題があるのか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方債の発行残高の推移について, グラフ 2 をもとにおさえたうえで, 「事業仕分け」を説明する。 ・ 「民生費」「土木費」「公債費」などに着目させる。 ・ 10 年後のグラフを予想させることで, 先々を考えた財政設計の必要性に気付かせる。
まとめ	<p>3 学習内容を整理する</p> <p>⑥ グラフ 6 を参考に, 市町村合併の長所や短所, 合併が進んだ背景について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政的な要因が大きい。 ・ 幅広い公共サービスが受けられる。 ・ 細やかなサービスが受けられなくなる。 ・ 昔ながらの町名が消えてしまったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 背景に財政的な要因があることに気付かせる。

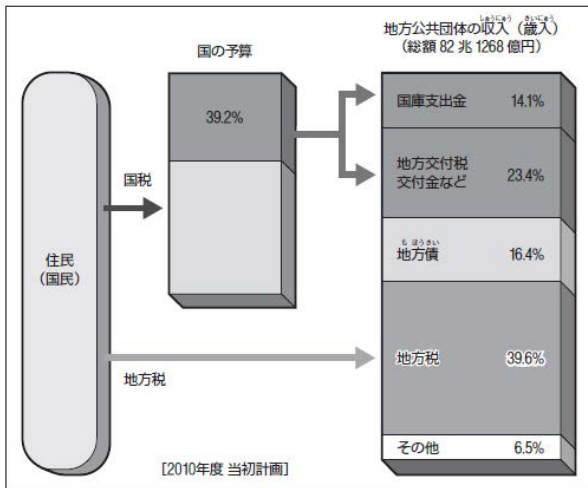
グラフ 4



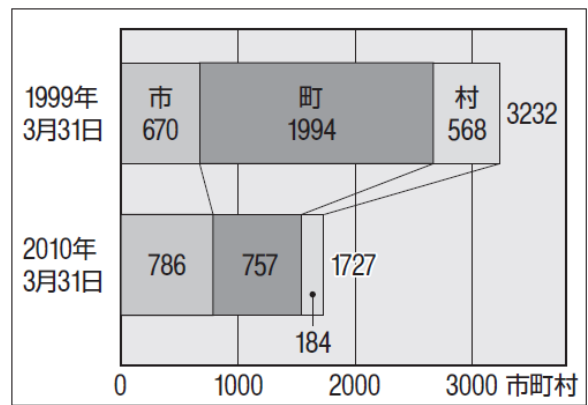
グラフ 2



グラフ 1



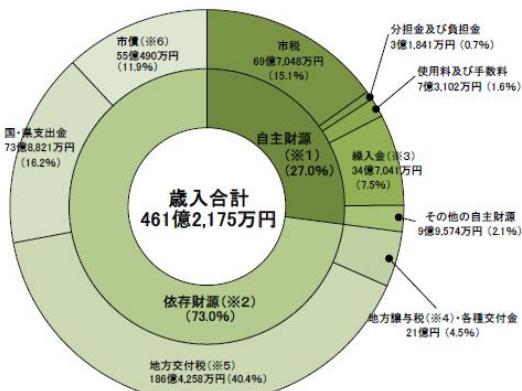
グラフ 6



グラフ 7 平成 27 年度 登米市歳入

歳入(収入)

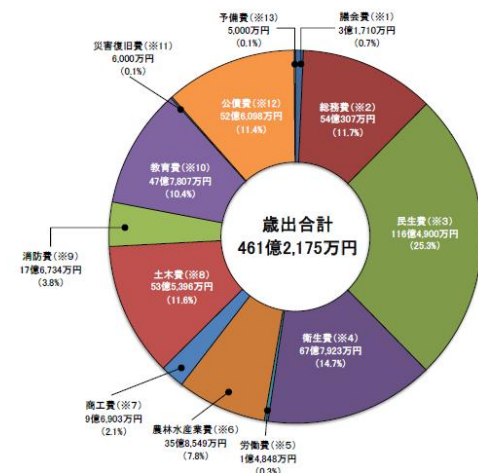
一般会計の歳入総額は461億2,175万円で、このうち最も高い割合を占めるのは地方交付税(※5)で40.4%、次いで国・県支出金が16.2%、以下、市税が15.1%、市債(※6)が11.9%の順となっています。さらに、これを自主財源(※1)と依存財源(※2)に分けてみると、市税、使用料及び手数料などの市が独自に収入することができる自主財源は全体の27.0%で、地方交付税や国・県支出金などの依存財源は73.0%となります。前年度と比較すると、国・県支出金が約10億5千万円、繰入金が約5億9千万円増加している一方、地方交付税が約5億4千万円、市税が約1億6千万円減少しています。



グラフ 7 平成 27 年度 登米市歳出

歳出(支出)目的ごと

一般会計の歳出総額を目的別にみると、最も高い割合を占めるのは民生費(※3)で25.3%、次が衛生費(※4)で14.7%、以下、総務費(※2)11.7%、土木費(※8)11.6%、公債費(※12)11.4%、教育費(※10)10.4%の順となっています。



平成27年度 租税教育実践事例(第3学年)

登米市立中田中学校

教諭 白石 善郎

1 単元名 「国民生活と福祉」

2 単元の目標

- ・国民生活と福祉の向上を図るうえでの国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、租税の意義と役割，納税の義務を通して理解させる。
- ・社会保障や経済に関して，資料の活用を図り，自分たちの考えをまとめ，発表させる。

3 単元について

現代の日本は国民主権であり，全ての国政は国民のために行われる。そして，人権の保障もなされている。これらの日本の根幹となる部分を維持していくためには，国民それぞれが協力し合わなければならない。その最も重要な部分として，社会資本やサービスを充実させるために必要となるものが税である。言い換えれば，税によって国民の生活が守られている。

そこで，豊かな社会を実現していくためには国民が協力して資金を出し合うことが必要であり，そのために税が国民の義務となっていることを理解させたい。そして，社会を支えるのは国民一人一人であることを確認させたい。さらに，このことによって納税だけではなく，その税の使途を決定する内閣や国会が国民の意思を尊重しなければならないことに気づかせたい。

4 指導計画(6時間扱い，本時1/6)

学習時間	題材名
第1時	政府の経済活動と租税(本時)
第2時	政府の役割
第3時	社会保障のしくみ
第4時	少子高齢化と財政
第5時	世界の中の日本経済
第6時	学習の補充と発展

5 本時の指導

(1)題材名 「政府の経済活動と租税」

(2)ねらい

- ・身近な事例を通して，税に関する関心を高めることができる。(関心・意欲)
- ・税の必要性について学習を通して理解することができる。(知識・理解)

(3)指導にあたって

国民生活を円滑に豊にしていくためには税が不可欠であることを自覚させたい。そのため，実際に税を用いて作られている施設や設備などをあげさせることによって身近なものとしてとらえさせたい。そこから，義務化する必要性について考えさせたい。

(4)評価

- ・身近な事例を通して，税に関する関心を高めることができたか。(関心・意欲)
- ・税の必要性について学習を通して理解することができたか。(知識・理解)

(5)指導過程

	学習活動と予想される生徒の反応	教師の支援
導入	<p>1 登米市内でみんなのためにあるものをあげる。 ・公園，学校，道路，交番，消防署，コンビニ，スーパー，幼稚園など</p> <p>2 みんなのためにあるものは誰が経営しているか考える。 ・国，市，社長など</p>	<p>・なるべく多くの意見をあげさせる。登校するまでの間にあるものなどを思い起こさせる。</p> <p>・社会資本や公共サービスのものについて考えさせる。</p>
展開	<p>3 国民全体のために使うお金はどのように準備すればよいか考える。 ・金持ちが出す，税として集める，必要な人が出す，国会議員が出すなど</p> <p>4 国民生活に欠かせない税の種類を確認する。 ・直接税と間接税の違いや国家予算の税収を知る。</p> <p>5 年収に差がある場合に所得税の課税割合はどうしたらよいか考える。 ・同じ割合，金持ちは多く払う，少ない人は払わなくていいなど</p> <p>6 累進課税制度について確認する。</p> <p>7 国民から集めた税をどのように使ったらよいか考える。 ・みんなのため，困っている人に使う，無駄にしてほしくないなど</p>	<p>・みんなが必要なものはみんなが出しあわなければならないことに気付かせる。教科書が無償であることなどにも触れたい。</p> <p>・8%の消費税も全国から集まれば大きな額になることなどに気付かせたい。</p> <p>・年収に差があった場合に生活に必要な費用をどうしたらよいかを気づかせる。</p> <p>・累進課税の割合はプリントで配布する。</p> <p>・自分たちも消費税などで納税している負担者であることを自覚させて，考えさせる。</p>
終結	<p>8 税の使い方についての意見を発表する。 ・質問や反対意見もあれば発表する。</p> <p>9 次時の予告</p>	<p>・なるべく多くの意見を取り上げる。</p>

6 成果と課題

【成果】

税に対する意識として以前よりも必要性を強く感じたようである。特に社会資本で自分たちが知っているものよりもはるかに多くのものが税によって成り立っていることに気付いたようである。

また、自分たちが納めている消費税のみならず、家庭内でも親や祖父母、兄弟などが納めている所得税やその他の税についてもどのような使われ方をしているかという関心が出てきたようである。

授業後にも税に関する質問をする生徒がいるなど税への関心や詳しく知りたいという欲求が生まれている。

【課題】

税に対しての関心を持ち、より深く学びたいという生徒がいる一方で、依然として税は「取られる」ものという意識で悪いイメージを持っている生徒がいることも事実である。今後の授業で引き続き、必要なものであることを考えさせていきたい。

また、今回の実践では教師主導の授業で行ったが、機会があれば税務署による租税教室の利用も今後行っていきたい。また、ビデオやホームページなどももっと効果的に活用すればさらに身近に感じさせることができたのではないかと思う。

今後は税の行方に関心を持たせながら将来の社会資本を考えさせながら、財政政策について調べさせたい。

平成27年度 租税教育推進協力者

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
登米市 迫町 佐沼小学校	6年生	佐々木 理 教諭
登米市 東和町 錦織小学校	教務主任	岩淵 安弘 教諭
登米市 中田町 加賀野小学校	6年生	小幡 秀明 教諭
登米市 米山町 米岡小学校	6年生	佐藤 智之 教諭
登米市 石越町 石越小学校	6年生	門田 洋之 教諭
登米市 南方町 東郷小学校	6年生	金野 ゆかり 教諭
登米市 迫町 佐沼中学校	3年生	及川 正生 教諭
登米市 中田町 中田中学校	3年生	白石 善郎 教諭

平成 27 年度 登米市租税教育推進協議会構成員名簿

(敬称略)

役職名	所 属	氏 名
会長	登米市教育委員会 教育長	佐藤 信 男
幹事	宮城県東部教育事務所登米地域事務所 所長	志小田 美 弘
幹事	登米市小学校長会 会長	萩田 隆 児
幹事	宮城県東部県税事務所登米地域事務所 所長	高橋 清 徳
幹事	登米市総務部次長兼税務課長	富士原 徹
幹事	佐 沼 税 務 署 署 長	榊 幸 弘
	県北高等学校長会 登米地区代表	小野寺 清 隆
	登米市中学校長会 会長	工藤 輝 雄
	登米市教育研究所 所長	加藤 敬 一
	登米市教育委員会 生涯学習課 課長	佐藤 嘉 浩
	登米市納税貯蓄組合連合会 会長	堀田 繁 雄
	公益社団法人登米法人会 会長	高田 次 雄
	東北税理士会宮城県北支部佐沼部会 部会長	及川 富 男

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子 教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一 教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一 教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原仁 教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子 教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘 教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎 教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦 教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏 教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫 教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一 教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子 教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子 教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄 教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝 教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘 教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄 教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子 教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚豊 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法 教諭
米山町	米山中	社会科	及川喬 教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明 教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子 教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺蔦 教諭
石越町	石越小	3 学年	石山順 教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野峻 教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志 教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫 教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階堂 和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋 節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	6 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	佐々木勝江 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	高橋秀憲 教諭
中田町	上沼小	5 学年	鈴木典幸 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	水沼勝 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	菅原善彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	熱海宏明 教諭
南方町	南方小	6 学年	佐藤秀明 教諭
登米町	講師	社会科	三浦秀治 教諭
石越町	石越中	社会科	山家英樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	3 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	萩田志保子 教諭
東和町	米谷小	5 学年	鈴木真理 教諭
中田町	浅水小	5 学年	佐藤教子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	兵藤清美 教諭
米山町	中津山小	6 学年	佐藤勉 教諭
石越町	石越小	5 学年	桜井ひろみ 教諭
南方町	東郷小	5 学年	熊谷俊子 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭
米山町	米山中	社会科	石田康之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	T T	岩渕安弘 教諭
登米町	登米小	6 学年	熱海宏明 教諭
東和町	錦織小	5 学年	菅原善彦 教諭
中田町	桜場小	5 学年	佐藤美紀子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	後藤智子 教諭
米山町	米岡小	5 学年	秀由佳 教諭
石越町	石越小	5 学年	野里恵二 教諭
南方町	西郷小	5 学年	笹原明美 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
中田町	中田中	社会科	箱石雄悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	4 学年	金野ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	飯塚市代 教諭
東和町	鱒淵小	6 学年	中井充夫 教諭
中田町	石森小	5 学年	岩渕公一 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	矢野美智代 教諭
米山町	善王寺小	5 学年	遠藤聡子 教諭
石越町	石越小	5 学年	佐藤眞紀 教諭
南方町	南方小	6 学年	石井大志 教諭
東和町	東和中	社会科	高橋和芳 教諭
豊里町	豊里中	社会科	矢内昭裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6 学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5 学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5 学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5 学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5 学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	加瀬谷 武敏 教諭
中田町	新井田小	6 学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5 学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5 学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5 学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6 学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5 学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6 学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6 学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6 学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5 学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5 学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	佐沼小	6 学年	千葉 克憲 教諭
錦織小	錦織小	5 学年	佐藤 理英 教諭
石森小	石森小	5 学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小	加賀野小	6 学年	鈴木 周 教諭
中津山小	中津山小	5 学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小	桜岡小	6 学年	鈴木 明美 教諭
東郷小	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
柳津小	柳津小	6 学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中	佐沼中	社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中	豊里中	社会科	寺内 篤 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第一小	6 学年	秋 葉 徹	教諭
嵯峨立小	5・6 学年	渡 邊 宏 紀	教諭
上 沼 小	6 学年	熊 谷 真 理 子	教諭
浅水小	6 学年	鈴 木 勝 彦	教諭
豊里小	6 学年	寺 内 篤	教諭
善王寺小	5・6 学年	菅 原 満 夫	教諭
西郷小	5 学年	千 葉 洋 子	教諭
横山小	5 学年	佐 藤 秀 俊	教諭
東和 中	社会科	高 橋 和 芳	教諭
南 方 中	社会科	菅 原 栄 治	教諭

平成19年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第二小	6 学年	永 倉 郁 裕	教諭
米川小	6 学年	萩 原 達 也	教諭
鱒淵小	3・4 学年	長 南 忠 男	教諭
宝江小	6 学年	佐 藤 朱 美	教諭
中津山小	6 学年	米 島 久 智	教諭
米岡小	6 学年	三 浦 弘 義	教諭
石越小	6 学年	高 橋 聡 子	教諭
南 方 小	6 学年	鈴 木 久 美	教諭
登米 中	社会科	藤 浦 悟	教諭
津山 中	社会科	飯 川 弘 芳	教諭

平成20年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
北 方 小	6 学年	菅 原 善 彦	教諭
森 小	特別支援	芳 賀 明 洋	教諭
桜岡小	6 学年	千 葉 高	教諭
善王寺小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
中津山小	6 学年	村 上 喜 久 美	教諭
米谷小	5 学年	佐 々 木 里 香	教諭
石森小	5 学年	澁 谷 智 樹	教諭
加賀野小	6 学年	大 友 厚 子	教諭
新田 中	社会科	箱 石 雄 悟	教諭
石越 中	社会科	田 口 勇 介	教諭

平成21年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学年	千 葉 恵 理 子	教諭
森 小	5 学年	鈴 木 淳	教諭
錦織小	6 学年	芳 賀 明 洋	教諭
浅水小	6 学年	小 野 寺 博 美	教諭
米岡小	6 学年	佐 藤 英 明	教諭
南 方 小	6 学年	高 橋 敏 子	教諭
柳津小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
佐 沼 中	社会科	小 山 紘 明	教諭
米山 中	社会科	守 康 幸	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛 教諭
米 谷 小	社会科主任	小 畠 宏 夫 教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹 教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂 教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有 教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎 教諭
豊 里 中	社会科	井 上 鮎 香 教諭
南 方 中	社会科	富 安 隆 文 教諭

平成23年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟 教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬 教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博 教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和 教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子 教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男 教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 田 中	社会科	中 津 川 英 樹 教諭
津 山 中	社会科	飯 川 弘 芳 教諭

平成24年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟 教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子 教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み 教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦 教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄 教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典 教諭
東 和 中	社会科	藤 浦 悟 教諭
石 越 中	社会科	伊 藤 圭 講師

平成25年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純 教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀 教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理 教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之 教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
横 山 小	教務主任	鈴 木 明 美 教諭
登 米 中	社会科	遠 藤 孝 講師
米 山 中	社会科	清 水 裕 治 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新 田 小	6 学 年	鈴 木 健 太 郎	教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬	教諭
米 川 小	6 学 年	高 橋 寛	教諭
宝 江 小	6 学 年	鈴 木 真 亀 子	教諭
豊 里 小	6 学 年	千 葉 恵 理 子	教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子	教諭
南 方 小	社 会 科	後 藤 善 史	教頭
柳 津 小	教 務 主 任	菅 原 満 夫	教諭
新 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟	教諭
豊 里 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭

平成 28 年 3 月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD 等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） (0220) 22-2501